

小規模企業景気動向調査

〔平成30年10月期調査〕

～消費税増税を見据え、停滞期感が漂う小規模企業景況～

2018年1月16日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…消費税増税を見据え、停滞期感が漂う小規模企業景況…◇

10月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)を除く3DIで改善が見られた。10月中旬に安倍首相が来年10月に消費税率を予定通り8%から10%へ引き上げると表明したことを受け、今まで設備投資時期について悩んでいた企業からの問い合わせや相談が増えたとのコメントがあった。また、自然災害の面では台風24号の直接被害に加え停電や塩害の影響が大きく、経済面では円安ドル高による原油を中心とした価格高騰等の影響もあり、停滞期に入りつつある。

＜製造業＞ ◇…一転回復も、人手不足や原材料高が足かせとなっている製造業…◇

製造業は先月から一転、全項目が改善となった。特に売上額DIと資金繰りDIが小幅に改善した。機械・金属関係は受注が好調であり、来年10月の消費税の軽減税率対応に伴うレジの入替需要に伴い、部品メーカーでも受注が増えてきているとの声もあった。繊維関係では来年の成人式、卒業式・卒園式、入学式・入社式まで続く縫製品需要増に向け体制を整えているとの声が聞かれた。一方で、慢性化しつつある人手不足や原油価格の上昇による食料品関連の包装資材の高騰や夏から続く乳製品の購入規制の影響から、利益を圧迫されているとのコメントが見られた。

＜建設業＞ ◇…年末向け・災害復旧工事で好調も、人手不足等の影響で陰りが見える建設業…◇

建設業は業況DIこそ若干の悪化となったが、それ以外は改善となり、売上額DIと資金繰りDIは小幅、採算DIではわずかに改善した。年末に向けた繁忙期であるのに加え、消費税増税前の駆け込み需要、オリンピック関連工事、台風や地震からの復旧工事等、工事需要は官公需・民需とも活発であり、繁忙を極めている。一方で、全国的な人手不足の影響が深刻で工事を断っているというコメントも見られた。建設機械でも自動運転技術等の技術導入されつつあるが、機械が複雑で修理が内製化できずに却って手間がかかるとの声もあった。

＜小売業＞ ◇…売上・採算・資金繰りが改善するも、消費税増税が業況に影を落とす小売業…◇

小売業は業況DIがわずかに悪化したものの、他方、採算DIは小幅に改善した。秋の行楽シーズンや季節の変わり目の衣料需要など明るい話題もあるが、今月は先月より悪化を示すコメントが目立った。特に、消費税増税について悲観的に捉えるコメントが目立った。また、度重なる災害により消費者に買い控えの傾向が出てきていることに加え、葉物野菜を中心に収穫減や魚介類の不漁による高値推移なども需要の低迷に拍車をかけている。

＜サービス業＞ ◇…業況こそわずかに改善するも、夏の自然災害の影響が続くサービス業…◇

サービス業は業況こそわずかに改善したが、それ以外の採算DIと資金繰りDIは小幅に悪化した。災害が多く発生したため対応する保険の加入が多いというコメントや比較的穏やかな気候であったことから、地域によっては、夏の天候不順の落ち込みが昨年を上回る程度に回復しつつあるとの報告があった。一方で、豪雨や地震で直接被害を受けた地域では、復旧後も客足の回復には至っていないとの声や、理美容業では、原材料高により、シャンプー等の資材が高騰し利益が圧迫されているとの声が聞かれた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 12.5	▲ 10.9	1.6	▲ 7.6	▲ 4.2	3.4	1.9	5.0	3.1
採算	▲ 15.7	▲ 15.0	0.7	▲ 14.8	▲ 13.1	1.7	▲ 6.4	▲ 5.9	0.5
資金繰り	▲ 11.7	▲ 10.9	0.8	▲ 10.4	▲ 7.1	3.3	▲ 7.9	▲ 5.2	2.7
業況	▲ 14.1	▲ 14.1	0.0	▲ 12.0	▲ 10.4	1.6	2.0	0.4	▲ 1.6

業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 23.8	▲ 23.1	0.7	▲ 20.8	▲ 21.4	▲ 0.6
採算	▲ 24.7	▲ 21.4	3.3	▲ 17.0	▲ 19.6	▲ 2.6
資金繰り	▲ 17.0	▲ 16.9	0.1	▲ 11.6	▲ 14.4	▲ 2.8
業況	▲ 25.1	▲ 25.6	▲ 0.5	▲ 21.3	▲ 20.7	0.6

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査

[平成30年11月期調査]

～足踏み状態が続き、停滞感が強まった小規模企業景況～

2019年1月16日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…足踏み状態が続き、停滞感が強まった小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、資金繰りDIはわずかに悪化し、採算DIは前月とほぼ不変であった。経営指導員からは、11月は暖冬で、前年と比べると積雪も少なく好天にも恵まれたため、観光地では景況感改善のコメントが目立った。また、本格的な冬の到来や年末の資金需要に向けて、各地の金融機関の積極的な態度が見られる。一方で、業種を問わず人手不足、原油等の価格高騰は慢性化しており、景況は停滞感が強まって来た。

<製造業> ◇…受注は好調も、人手不足や働き方改革の影響が懸念される製造業…◇

製造業は先月から引き続き、全項目が改善となった。特に採算DIが小幅な改善となった。食料品製造業では年末年始の需要増に対応するため、高稼働の状況に入ったとの声がある。また、今年は台風・地震と全国各地で災害が続いたこともあり、災害用ヘルメットを製造する強化プラスチック製品製造業やコンクリート製品製造業では、例年に無い需要が出てきている。他業種と同様人手不足に悩まされており、労働時間が増加する傾向にあるが、最低賃金の上昇や今後実施される働き方改革の影響を懸念するコメントも見られた。

<建設業> ◇…受注は好調も、大手企業等との競争や資材高・人手不足が足かせとなっている建設業…◇

建設業は売上額DIこそ小幅な改善となったが、業況DIと資金繰りDIは小幅に悪化、採算DIはわずかに悪化した。来年の消費税増税前の駆け込み需要や災害からの復旧工事で官需・民需を問わず工事量が増加しつつあり、受注は好調である。しかし、民需は大手企業やハウスメーカーの参入が多く、町村内を商圏とする小規模事業者の受注が難しくなっている。また、専門性の高い職別工事業の人手不足や重機不足により伴う工期の長期化による受注機会の逸失が発生や建材等の材料高などにより、利益等が圧迫されているとの声があった。

<小売業> ◇…季節需要から一部は好調も、人手不足等の影響もあり疲弊が続く小売業…◇

小売業は、全項目が悪化となった。秋冬物の販売が好調であるとの声や紅葉等の行楽需要により飲食料品を中心に売上が伸びているとのコメントがあった。一方、小規模な小売業の全国的なじょうきょうであるが、相次ぐ大規模小売店、ロードサイド店舗や食品コーナーを持つドラッグストアの出店や競合により売上の確保が難しく、人手や仕入れ商品の確保にも苦慮しているとの声もあった。また、仕入単価も上昇しており大変厳しい状態が続いている。

<サービス業> ◇…売上は好調も、人手不足や原材料高の影響の大きいサービス業…◇

サービス業は先月から一転、全項目が改善に転じた。各種イベントの効果もあり観光客が増加した地域や、本来、紅葉と冬山シーズンの間のオフシーズンのため集客が低下する時期にもかかわらず、却って増加となっている地域も見受けられた。しかし、人手不足によりアルバイト・パートの確保に苦労しているのはサービス業も例外でなく、近隣との大型店との競争激化や消費者の消費控えなどで売上が思うように向上しないとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 10.9	▲ 9.2	1.7	▲ 4.2	▲ 3.3	0.9	5.0	9.1	4.1
採算	▲ 15.0	▲ 14.9	0.1	▲ 13.1	▲ 11.1	2.0	▲ 5.9	▲ 6.4	▲ 0.5
資金繰り	▲ 10.9	▲ 11.9	▲ 1.0	▲ 7.1	▲ 7.0	0.1	▲ 5.2	▲ 8.2	▲ 3.0
業況	▲ 14.1	▲ 14.7	▲ 0.6	▲ 10.4	▲ 9.8	0.6	0.4	▲ 2.1	▲ 2.5

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 23.1	▲ 25.5	▲ 2.4	▲ 21.4	▲ 17.3	4.1
採算	▲ 21.4	▲ 23.4	▲ 2.0	▲ 19.6	▲ 18.8	0.8
資金繰り	▲ 16.9	▲ 20.3	▲ 3.4	▲ 14.4	▲ 12.0	2.4
業況	▲ 25.6	▲ 27.2	▲ 1.6	▲ 20.7	▲ 19.9	0.8

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査

[平成30年12月期調査]

～停滞感から一転、小幅に改善した小規模企業景況～

2019年2月15日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年12月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…暖冬による恩恵を受ける地域があるも、天候不順が景気低迷を誘発する小規模企業景況…◇

12月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、採算DI、資金繰りDIのいずれもが改善した。改善幅は、売上額DI、採算DIがわずかで、資金繰りDIと業況DIは小幅に改善した。年度末の資金需要に対し各地の金融機関は貸出姿勢も良好であった。また、昨年と比べると全国的に降雪が少なく、車による移動がスムーズなことが集客につながっている反面、雪を必要とする観光業や宿泊業では客足が減少したり、天候不順による不漁で水産加工業等に影響がでている。

<製造業> ◇…回復基調から一転、全項目で悪化に転じた製造業…◇

製造業は先月から一変、全項目が悪化となった。特に売上額DIと採算DIが小幅に悪化した。一部の食料品製造業では、原材料の仕入価格が安定してきたことや年末年始に向けた受注が増えてきたことにより、売上増に期待が持てるとの声がある。また、新たな機械の導入により、生産性を向上させ売り上げをあげている企業があるとのコメントがあった。一方で、段ボールや石油由来のプラスチック容器、ビニール製品等の資材価格が高騰してきていることや、米中関係の悪化などから海外への輸出が伸び悩んでいるとのコメントが見られた。

<建設業> ◇…人手不足に起因する公共工事発注の絞り込みにより、地域に差が出る建設業…◇

建設業は全項目で改善となった。売上額DIと採算DIは小幅改善、資金繰りDIと業況DIは大幅に改善した。災害からの復旧工事需要が引き続きあり、また、消費税の駆け込み需要による建築・リフォーム工事も好調である、全般的に下請工事に繁忙を極めるが、公共事業の絞り込み等により地元の工事量が乏しく、県外や遠方での受注が増えているとのコメントが見られた。業況は好調なもの、人手不足による影響が著しく、採算等を圧迫している。また、除雪作業が増えてくるシーズンであるが、全国的に降雪が少ないため、目立った動きは無い。

<小売業> ◇…数値上は全項目で改善を示すが、景況感は改善とは言い難い小売業…◇

小売業は、先月から一転全項目で改善となった。特に採算DIを除く3DIで小幅に改善した。年末の需要で食料品販売業が好調であり、寒さにより暖房器具等にも動きがあるとのコメントがあった。また、積雪の少ない地域では、客足の減少が見られず、好調であるとの声も聴かれた。しかし、消費税の増税懸念に加え、暖冬、大型店・ネット通販との競合から小売業を取り巻く環境は大変厳しく、改善を示すコメントは少なかった。

<サービス業> ◇…好調が継続も、人手不足や燃料高により厳しい状態の続くサービス業…◇

サービス業は先月に引き続き、全項目が改善した。特に採算DIは大幅に改善した。年末年始の各種イベント需要から理美容業において利用者の増加が見られた。宿泊業では冬シーズンの到来から売上が伸びている地域もある。しかし、人手不足については依然として改善されず、他業種を競合し人材の獲得競争に拍車をかけている他、運輸関連は燃料の高止まりから厳しい状態が続いているとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 9.2	▲ 7.8	1.4	▲ 3.3	▲ 5.4	▲ 2.1	9.1	12.6	3.5
採算	▲ 14.9	▲ 13.3	1.6	▲ 11.1	▲ 13.6	▲ 2.5	▲ 6.4	▲ 3.9	2.5
資金繰り	▲ 11.9	▲ 9.0	2.9	▲ 7.0	▲ 8.0	▲ 1.0	▲ 8.2	▲ 2.8	5.4
業況	▲ 14.7	▲ 11.5	3.2	▲ 9.8	▲ 10.7	▲ 0.9	▲ 2.1	6.1	8.2

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 25.5	▲ 23.0	2.5	▲ 17.3	▲ 15.5	1.8
採算	▲ 23.4	▲ 22.7	0.7	▲ 18.8	▲ 12.9	5.9
資金繰り	▲ 20.3	▲ 15.5	4.8	▲ 12.0	▲ 9.7	2.3
業況	▲ 27.2	▲ 25.0	2.2	▲ 19.9	▲ 16.7	3.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内